

## 第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

### 報告書資料 一般-21

学校名・団体名	品川区立荏原第六中学校
HPアドレス	<a href="http://school.cts.ne.jp/ebara6/">http://school.cts.ne.jp/ebara6/</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	ICT を活用した中学1年生のリスニング力養成の 教材作成・試用
<p>〈活動・研究の意義, 目的〉</p> <p>品川区では, 教育特区として小学1年生から英語を教科として学習している。小学校外国語活動と同様に音声面を重視して指導し, 成果を上げている。しかし, 中学校において, リスニング問題で詳細を聞き取ることに課題が見られた。そこで, 科学的に繰り返し実証されている三ラウンド・システム理論(竹蓋, 1997)に基づいた教材を作成し, 指導することで, 中学1年生のリスニング力養成を図ることを目指した。また, そのことで, リスニング指導法の一手にも成り得ると考えている。</p> <p>本研究の目的は, 「三ラウンド・システム」に基づいた中学1年生レベルの学習者を対象にした教材で ICT (プレゼンテーションソフト) を活用した中学1年生のリスニング力養成用の教材を開発し, その教材による学習効果を測定することである。なお, 本研究では中学1年生レベルとは, 英語力では英検5級程度までを意味する。</p>	

## 1. はじめに

### 1.1 「三ラウンド・システム」理論を活用した教材の特徴

「三ラウンド・システム」とは、英語教育の総合システムの構想を表す名称(竹蓋・水光, 2005)ではあるが、狭義ではリスニング力養成のための中核システムのことであり、本研究ではこのことを指す。

このシステムには以下のような特徴がある。まず、英文を一気に理解させるのではなく、図1のように3回のラウンドに分けて学習させる。各ラウンドと目的は以下である。第1ラウンドでは大まかな理解をさせ、第2ラウンドでは正確・詳細な理解をさせる。そして、第3ラウンドで話者の意図や結論等を理解させる。中学生用の素材では内容が比較的易しいため、第3ラウンドでは複数の情報を総合して理解させることがある。それぞれのラウンドでタスクが課されるが、第1ラウンドのタスクを真面目に行うと第2ラウンドのタスクが容易になり、第2ラウンドのタスクを真面目に行うと第3ラウンドのタスクが容易になる。つまり、各タスク間を有機的につながるように設定する。そして、図1にあるように、ストーリー1→ストーリー2→ストーリー3のように異なる教材をはさみ、断続的に学習する分散学習の手法を取り入れている。このことで、より学習の定着を図っている。

図1の中に記されている、「事前情報」、「参考情報」、「ヒント情報」、「補助情報」、そして「発展情報」は、各ラウンド内でのタスクに解答することを補助したり、内容に関連した発展情報を提供したりする。これらはコースウェア詳細で後述する。

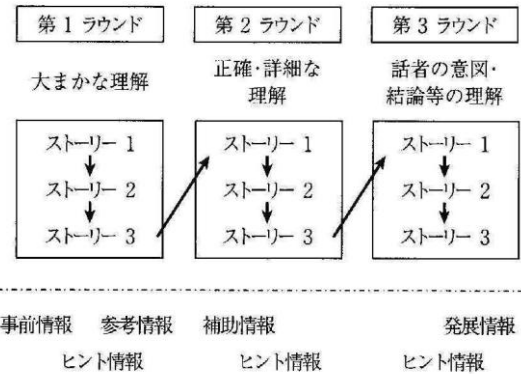


図1 三ラウンド・システムの構造(竹蓋, 2005, p.70)

## 2. 教材開発

### 2.1 本教材の特徴

本研究で開発した教材の特徴は、大きく2点ある。一つ目は、中学生の行動範囲に近く、親しみを持ち、理解しやすい語彙や文法が使われている電車での放送を素材として使用したことである。二つ目はリスニング力養成の中核システムである「三ラウンド・システム」に基づいてプレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使って作成した、という点である。

まず、教材の素材としてはJR東日本の山手線と東急線の車内放送を活用にした。それぞれの会社からは研究使用の許可を得た。中学生になると部活動に入部し、試合などの遠征等で小学生の時よりも行動範囲が広がる。また、これは本校の中学生が使うであろう沿線である。電車内の放送での語彙や文法面のみではなく、内容に関しても馴染みがあるものが多いと考えた。音声素材はナレーション等の訓練を受けた英語母語話者によって、自然な速度で録音をし直した。それは、音の脱落、挿入、同化等が普通に起こる英語音声聞き、自然な英語を処理する能力を身につけさせたいからである。

次に、学習に必要なタスクとそのタスク遂行に必要な各種情報、さらにその提示するタイミングなどを詳細に記したコースウェアは、「三ラウンド・システム」のリスニング力養成の中核システムの考え方に基いて作成した。コースウェアをICT教材とするためのソフトは、教材開発の容易性、指導者が教材編集可能であり、かつソフトなどの機器の発達にも影響されないことを考慮し、PowerPointのプレゼンテーションソフトの使用をした。このソフトであれば、少々のプログラミングの知識とPowerPointの使い方が分かれば、教材を作成できるようになっている。プレゼンテーションソフトの使用に従い、音声はMP3ファイル形式に、画像はjpeg形式にし、タスクなどの情報はPowerPointに打ち込めば良いことになる。

### 2.2 教材の概要

教材の内容は、学習者の行動範囲に近いと思われる沿線の駅とした。そうすることで、聞き覚えのある駅から興味をもって聞き取りをさせたいと考えた(表1)。

そして、徐々に遠くの駅になるように設定した。素材の長さ(秒)は、録音し直したものである。扱う主な文法項目としては、willの未来形と命令形である。

表1 教材の一部の概要

	Skit	長さ(秒)	語数	内容
Unit 1	1	21	44	品川駅に到着する前の放送
	2	13	21	原宿駅に到着する前の放送
Yamanote Line	3	16	30	秋葉原駅に到着する前の放送

### 2.3 コースウェアの詳細と各種情報の例

コースウェアの例と各種情報については、上述した図1の三ラウンド・システムの構造に従って述べていく。

まず第1ラウンドでは、タスクの前に「事前情報」を提示する。これは生徒に学習に向けて、心の準備を与えるものである。たとえば、聞き取る内容に関連した写真等である。これは第2、第3ラウンドのタスク前にも以前に学習したことを想起させるためにも使う。ここでのタスクの目標は「大まかな理解」であり、キーワードなどを聞き取らせる(表2)。「ヒント情報」としては、写真等、大まかに推測できるキーワードを提示する(図2)。そして、内容を推測させながら音声を聞いて概要の理解をさせる。参考情報の辞書情報

(WORDS&PHRASES) は、必要に応じて語句の文字、音声、意味を確認ができる (図 3)。

表 2 第 1 ラウンドのタスク例

Task1	放送を聞いて、大切だと思う単語や表現を拾ってみましょう。拾った単語や表現は覚えておくだけで大丈夫です。
Task2	この放送は何について話していますか。おおまかでよいので、聞き取れた単語から、大胆に推測してみましょう。(station, open, change, Line, silent など)

次に第 2 ラウンドでは、タスクの目標は「正確、詳細な理解」である。ここでの目標を達成させるためにタスクを 2 つか 3 つ提示する。それぞれのタスクに 3 つの「ヒント情報」を与えるが、全体的な内容の流れを考えさせるものから、タスクに解答できるように徐々に具体的に焦点を絞って与えていく (表 3)。図 4 のような数語毎のチャンクで処理させながら理解させる穴埋めのタスクもある。それらのタスクを通して、詳細な理解をさせる。「補助情報」は、コミュニケーションの技術や異文化情報で教材内容の理解を促す。または、文法的な説明を示すこともある。

表 3 第 2 ラウンドのタスクやヒント情報、補助情報例

Task1	品川について何と言っていますか。
Hint1	電車内の放送では、最初にどのようなことを言うか考えてから聞きましょう。
Hint2	next という単語に注意して聞きましょう。
Hint3	The... is Shinagawa. という表現で「…は品川です。」と言っています。
Answer	次の駅。
Script	The next station is Shinagawa.
Tips	電車内の放送は聞きなれていることでしょうか。この情報は、放送で聞き逃しはできないことですね。

最後の第 3 ラウンドでは、目標が「話者の意図・結論等の理解」である。ここでの目標を達成させるためにタスクを 1 つ提示する。中学 1 年生レベルの英文素材では、直接的に言われていないことを推測させるタスクを作るのは困難である。そのため、話の内容を総合したり、複数の情報を組み合わせて答えたりするタスクを用意する。ここでもそれぞれに 3 つの「ヒント情報」を与えるが、第 2 ラウンドと同様である (表 4)。ここでの注意点は、最終の第 3 ラウンドのタスクは以前の第 1 と第 2 ラウンドをきちんと学習すると、できるようにタスク間の有機的につながりが重要である。第 3 ラウンド後に「発展情報」を提示することもある。この情報は、教材中には扱われていないが似た場面で活用できる英文などの補足的で応用的な情報である。

表 4 第 3 ラウンドのタスクやヒント情報、補助情報例

Task2	電車内で「して欲しいこと」と、「しないで欲しいこと」は何ですか。
Hint1	まず、電車内で「して欲しいこと」は何かを考えてから聞いてみましょう。
Hint2	次に、電車内で「しないで欲しいこと」は何かを考えてから聞いてみましょう。
Hint3	Please の後に「して欲しいこと」、そして「しないで欲しいこと」の順番で言っています。注意して聞きましょう。
Answer	携帯電話がならないようにセットすること。電話で話さないで欲しい。
Script	Please set your mobile phone to silent mode and refrain from talking on the phone.
Tips	refrain from ...ing とは何かを控えて欲しい際に使われる丁寧な表現です。



図 2 学習画面

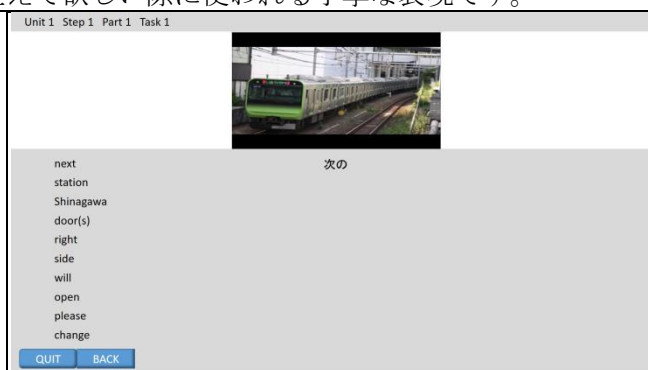


図 3 参考情報の辞書情報画面

### 3. 実施計画

平成 28 年度は東京都教育委員会の大学院派遣研修のために千葉大学大学院にて研究中であり、現場を離れての研修中のため、開発した教材の試用は平成 29 年度の 9 月からを計画している。それを終えてから再度、研究報告をする予定である。

### 4. おわりに

今回は、「三ラウンド・システム」理論と教材開発についての報告のみになっているが、試用実践後にデータを示しながら結果を報告したい。



図 4 穴埋め画面